

記者発表資料

おおごとさわさほうえんていかいちくこうじ

「R3大事沢砂防堰堤改築工事」において、「砂防コンクリート打設における歩掛と材料単価をセットにした見積活用方式」、「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」の試行、「余裕期間制度の活用」を採用します。

今回発注する「R3大事沢砂防堰堤改築工事」（令和4年3月23日公告）では、より多くの企業に参加していただきたく、以下の取り組みを試行しておりますので、ご紹介します。

○砂防コンクリート打設における歩掛と材料単価をセットにした見積活用方式
従来の「見積活用方式」である「歩掛」に加え「材料単価」も見積の対象に拡大することで、標準積算価格と実勢価格の乖離解消を図ります。（見積にて設定した歩掛及び材料単価は公表します）

○地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更

地域外からの労働者の確保が必要となる工事において、宿泊費や労働者の赴任手当など標準積算と実際にかかる費用に乖離が考えられるため、共通仮設費及び現場管理費の対象項目について、その妥当性を確認の上、実績変更する試行を行います。

○余裕期間制度の活用（フレックス方式）

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労務者確保等の準備ができる余裕期間を設定する工事であり、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ、日光記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所 電話0288-54-1191（代表）

副所長 一場 敏（いちばさとし）
工務課長 小池 利章（こいけとしあき）

○砂防コンクリート打設における歩掛と材料単価をセットにした見積活用方式

標準的な積算と乖離が予想される工種を選定し、入札者から見積もりの提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予想価格に反映する「見積活用方式」の試行に取り組んでいるところですが、砂防工事の設計・積算を適切に実施するため、従来の「見積活用方式」である「歩掛」に加え「材料単価」も見積の対象に拡大することで、標準積算価格と実勢価格の乖離解消を図ります。（見積にて設定した歩掛及び材料単価は公表します）

《対象工事》

直接工事費 「床固本体工（コンクリート）」
「仮設工（コンクリート締切）（道路補修）」

○地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更について

「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用について、妥当性を確認のうえ設計変更の対象とします。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

構成費目		率分に含まれる主な項目
営繕費	借上費	建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用
	宿泊費	労働者が、旅館・ホテル等に宿泊した場合に要した費用
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送するために要した費用
現場管理費	労務管理費	募集・解散費、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

《工事概要》

(1) 工事名：R3大事沢砂防堰堤改築工事

(2) 工事場所：栃木県日光市川俣地先

(3) 全体工期：契約締結の翌日から令和5年1月20日まで
《余裕期間制度（フレックス方式）》

(4) 入札方式：一般競争入札方式

総合評価落札方式「施工能力評価型Ⅱ型」「地域密着工事型」

(5) 工事種別：一般土木工事（C等級）

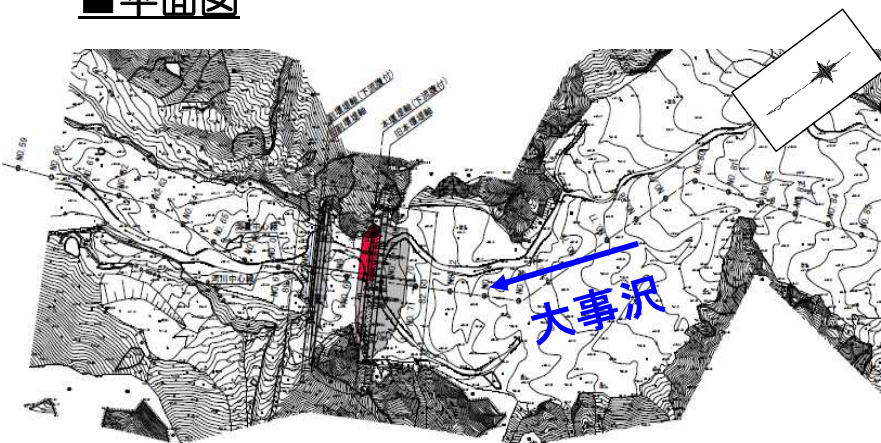
(6) 工事内容（概要）：**※見積活用対象項目**

砂防堰堤	1式
砂防土工	1式
コンクリート堰堤工	1式
コンクリート	約3,300m³
用心鉄筋	約580本
水抜き暗渠	約10m
仮設工	1式

《スケジュール》

入札公告、入札説明書交付	:	令和4年	3月23日（水）
競争参加確認申請書、見積書提出期限	:	令和4年	4月6日（水）
入札書・工事費内訳書提出期限	:	令和4年	5月11日（水）
開札	:	令和4年	5月16日（月）

■平面図

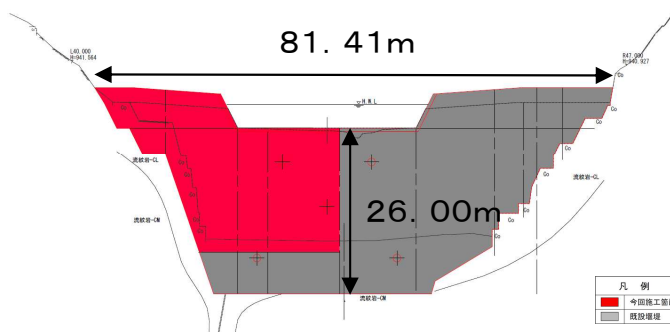


■位置図



■正面図

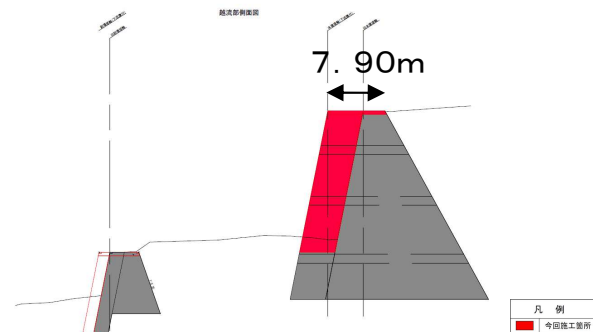
本堰堤正面図



3/4

■側面図

横断一般図(2) ①:100



概略工事工程表

工事名：R3大事沢砂防堰堤改築工事

工種	単位	数量	令和4年度									備考	
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
準備工	式	1		■		■							・30日間
仮設道路	式	1			■		■						・1pt
流水処理	式	1			■		■						・1pt
作業土工	式	1				■							・2pt
コンクリート堰堤工	m3	3,300				■	■	■	■	■	■		・1pt
後片付け	式	1									■	■	・20日間
制約条件 ・お盆 ・年末年始		—											・8月中旬 ・12月下旬～1月上旬

<関係機関協議>

工事着手にあたっての関係機関協議、地元説明は、発注者が主体となって実施します。

<余裕期間制度(フレックス)の活用について>

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の中で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。